

「県エネルギー戦略」を推進するための 洋上風力発電の導入に向けた現状について

代表質問
石黒党・議員／質問

エネルギー政策は、平成23年3月11日の東日本大震災が政策の転換点となりました。県は、吉村美栄子知事の「卒原発」という意志により、平成24年3月に「県エネルギー戦略」を策定。この目標は、2030年度までに原発一基分に相当する101.5万kWの再生可能エネルギーを生み出すことです。平成22年度の環境省による再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査によると、県の風力における期待可採量は全国7番目で、風力に対する期待が大きいことがわかります。

また、平成29年3月には「県エネルギー戦略・エネルギー政策推進プログラム」の見直しが

ていくために、洋上風力発電の取り組みについて、環境エネルギー一部長に伺います。

【答弁：環境エネルギー部長】

県は平成30年7月に、「県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議」を設置。遊佐町の沿岸を想定し、地域と協調した洋上風力発電の導入に向けた研究・検討を進めています。

漁業者の理解については、洋上風力発電の先進地である長崎県五島市への視察を行ったほか、洋上風力発電と漁業の協調に関する研究会を設け、議論や検討を通してイメージの共有を図りました。その結果、県漁協では、「促進区域」に向けて調整を行う法定協議会への参加について、理事会に諮られます。

地域住民の理解については、県と遊佐町が連携し、全地区の

住民に対して検討状況を説明し意見交換を行ったほか、遊佐町からも、啓発チラシの配布や公民館まわりの機会に啓発パネルの展示などに協力いただき、地域住民への理解が広がりました。

系統については、規模に見合った系統の空き容量はありません。しかし発電事業者からは、「増強工事を行うことにより系統接続は可能であり、費用も投資を行ううえで妥当な金額が見込まれる」とのことから、系統の確保に一定の目処が立ちました。

こうした成果が、令和元年11月の研究・検討会議遊佐部会で報告され、令和元年度中にも、法定協議会の設置を経産・国交両省に要請することを確認。県は地域と協調した洋上風力発電の導入に向け、法の枠組みに基づく新たな段階に進みます。

Satoru Ishiguro's Press
発行日●2020年3月吉日
発行人●山形県議会議員 石黒 党
事務所●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥234-2
Tel.Fax.●0234-52-2862
URL.https://www.isiguro.net/
E-mail. satoru@isiguro.net
公式Facebook●
https://www.facebook.com/satoru.ishiguro.5
公式Twitter●
https://twitter.com/isiguro_satoru

石黒さとる

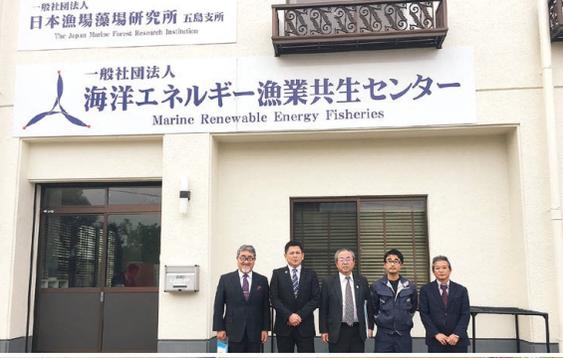
希望への懸橋



庄内一丸、知恵と力で世界へ発信

●Vol. 18

令和元年12月24日(火)、長崎県五島市にて、海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に関する法律(再エネ海域利用法)について現地調査。その長崎県五島市は12月27日(金)、経済産業省より海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域(促進区域)に指定されました。吉村美栄子知事が提唱する「卒原発」社会の実現に向けて、私も全力を尽くしたいと思います。



令和元年12月19日(木)、酒田市上野曾根から安田地内の「安田バイパス」早期開通を望む要望書を吉村美栄子知事並びに県土整備部長に提出。平成30年度に用地買収が完了し、令和元年度に遺跡調査が終了しています。一日も早い開通を要望いたしました。

令和2年1月17日(金)、重要港湾である「酒田港」の利用促進を図るために、「フロスパーポートさかた」ポートセールス協議会と県が主催の「酒田港ポートセミナー in 東京」に出席。吉村美栄子知事と矢口明子酒田市副市長のご挨拶の後、事例発表として陸送コストの低減などの紹介がありました。



新型コロナウイルスの相談窓口 帰国者・接触者相談センターについて

県と山形市の保健所に新型コロナウイルスに関する「帰国者・接触者相談センター」を設置しました。次の方は速やかにご相談をお願いします。

1. 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日(高齢者や基礎疾患のある方は2日)以上続いている方。
2. 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方。

帰国者・接触者相談センターの連絡先

帰国者・接触者相談センターでは、受診までの間の感染拡大を防止するために、次のような手順で受診案内を行っています。

1. 保健所が症状などをお聞きし、県指定の医療機関と調整を行います。
2. 保健所から相談者へ受診いただく医療機関と、受診までの注意事項をお伝えします。
3. 注意事項に従って、指定の医療機関を受診いただきます。
4. 医師が診察し、検査が必要な場合は保健所に依頼して検査を行います。

居住地を担当する保健所にお電話をお願いします。

村山地域／村山保健所保健企画課
Tel.●023-627-1100

山形市／山形市保健所健康増進課
Tel.●023-616-7274

最上地域／最上保健所地域保健福祉課
Tel.●0233-29-1268

置賜地域／置賜保健所生活衛生課
Tel.●0238-22-3002

庄内地域／庄内保健所保健企画課
Tel.●0235-66-4920

所属委員会 (令和2年度)

- 議会運営委員会(副委員長)
- 文教公安常任委員会
- 予算特別委員会

早春の候、春の温かい日差しが気持ちのいい季節になりました。皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、私の県議会活動に對しましてご理解をいただき、心より感謝を申し上げます。

今年の冬は、記録的な暖冬や少雪の影響で、観光・除雪業者などの売り上げが減少し、資金繰りへの影響が懸念されたことから、県は「一社あたり貸付限度額五、〇〇万円の低利融資を令和二年一月一六日より開始しました。吉村美栄子知事は、「暖冬や少雪による県内中小企業者への影響を把握し、努めながら、しっかりと対応していきたい」と述べました。

新型コロナウイルス感染への注意喚起のなか、県政クラブは二月二八日に、「新型コロナウイルス対策本部」を設置。料理飲食業生活衛生同業組合や山形市内の学童保育所などを調査して、日々拡大している深刻な状況や医療現場の懸念を吉村美栄子知事に迅速に伝え、要望活動を展開。県は、一日あたりの最大検査数を最大六〇〇検体から三月中に最大八〇〇検体に増やすこととして、新型コロナウイルスの影響により経営に支障をきたしている中小企業などへの貸付限度額五、〇〇万円の無利子融資を三月一六日より始めました。「県として何が出来るか、何が必要なのかを、調査して走りながら現場の状況を把握し対応していきます。」

二月定例会では、令和二年度一般会計当初予算六、一三三億六、四〇〇万円が可決されました。この当初予算には、酒田港の整備など／六億二、六三四・七万円などが含まれています。この予算に対して吉村美栄子知事は、「県の実現に向け、未来の世代が幸せに暮らしていけるよう取り組んでいく」と語りました。

これからは「是を是とし、非を非とすること」を基本として、急ぐものには全力で走り、時間が必要なものは、じっくりと取り組みたいと思います。今後もご指導を賜りますようお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の一日も早く収束を迎えるために、施策提言を継続してまいります。

山形県議会議員 石黒 党



山形県・令和2年度当初予算の主な事業③

農林水産部●県産農林水産・食品の付加価値向上と販路拡大の支援(農林漁業者、地域、食品製造業者などの6次産業化の取り組みへの支援など)……………3億8,266.6万円

農林水産部●県産米などの生産供給体制強化に向けた支援(強い農業、担い手づくり総合支援交付金や「雪若丸」の品質の向上支援など)……………4億3,600万円

農林水産部●畜養技術などを活用した庄内浜産水産物の付加価値向上(庄内浜産水産物の付加価値向上と安定供給のための畜養モデル事業の実施など)……………7,888.3万円

教育庁●教職員の働き方改革の推進(スクール・サポート・スタッフの配置や部活動指導員の配置など)……………1億5,881万円

教育庁●県立高等学校校舎整備等事業(庄内総合高等学校校舎、庄内中高一貫校(仮称)整備事業や県立高等学校冷房施設整備など)……………8億9,952.9万円

地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」配備計画の再調査について

総務常任委員会

石黒委員●防衛省の調査不備により、秋田県では大変な問題になっています。配備に6,000億円もかけて、大気圏外で撃ち落とす必要があるのか疑問です。私は、「イージス・アショア」は不要だと思います。遊佐町が、当該調査の対象地のひとつであったようですが、防衛省からはどのような説明がありましたか。

防衛省からは、公表した調査結果に誤りがあり再調査を行うこと、調査対象に県内4カ所の国有地が含まれていることを聞いています。それ以上は説明がありません。秋田市の新屋演習場への配備計画を取りやめるところであり、報道のような事実はないとの回答です。また、官房長官の記者会見でも、現段階で何らかの方針を決定した事実はなく、新屋演習場への配備を断念した事実もないとの発言もあります。引き続き情報収集に努めていきます。

石黒委員●知事の記者会見で、県での再調査は「いたしかたないのかな」と発言しています。また、政府幹部の話として、住民感情を考えると新屋演習場は適地ではないとの報道もありました。県としての対応はどう考えていますか。

防災くらし安心部次長●知事の発言は、「調査に誤りがあったのだから、再調査はいたしかたない」という趣旨です。また、次の記者会見では、県が調査対象に入っていることに少し驚いたこと、仮定の話には答えられないが、地域の意見が大切であることも発言しています。

石黒委員●外交で道筋をつけることが大切だと思います。全国知事会や議長会での議論が必要ですが、

皆様のご意見、ご要望をお気軽にお聞かせください。

皆様からいただいた県政に対する意見、感想や、お困りのこと。そして、未来への願いなどは、今後の県政の質疑や政策づくりに優先的に生かしていきます。

山形県議会議員 石黒 党
事務所●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥234-2
Tel.Fax.●0234-52-2862
URL.https://www.isiguro.net/ E-mail. satoru@isiguro.net